

教えて せんぱい!



青森は好きだけど、俳優になるために東京に行きたいという小林さんと、管理栄養士になるという夢をどこで叶えるか、迷っている西塚さん。将来に希望を抱く2人に、社会人の先輩としてアドバイスをするのは東京から帰郷し、青森県を拠点にしてビジネスを展開する中村さんです。

青森はものすごく楽しい、すごい場所

- 小林：** 高校時代、将来の夢は何でしたか？
- 中村：** 映画監督。実は今でも、あきらめてはいないんですよ。お互いに夢を叶えて、一緒に仕事できたらいいね。
- 西塚：** 私は管理栄養士になるために、東京に出ようかどうか迷っているんですが、中村社長にとって東京はどんな感じでしたか？
- 中村：** テレビや映画の中の光景が、すぐそこでリアルに感じられるので、毎日が刺激的で新鮮でした。
- 小林：** なぜ、青森に戻ることに？
- 中村：** 両親の事業を継ぐためです。まだ東京にいたいという気持ちはありましたが、いざ帰ってきてみると、青森は「ものすごく楽しい、すごい場所」だと気付いたんです。すぐ近くに素晴らしい自然や温泉があるし、食べ物は何れをとっても高品質で美味しい。子どもをのびのびと遊ばせる環境があるのもいいですね。

夢を実現したいなら、まずは戦略

- 中村：** 二人はどうして今の夢を？
- 小林：** 僕は北村匠海さんが好きで。歌もできて演技もできる。そういう俳優さんになりたくて目指すようになりました。
- 西塚：** 私は、小学生の時に管理栄養士について調べる機会があって興味を持つようになりました。食品を開発するような仕事だったら、東京

- の方が選択肢があるのかなと。
- 中村：** 私にもそういう感覚はありました。「青森には何もないから早く出ていきたい」と思っていたんですが、今では「ないなら自分で作ればいい」と考えるようになったんです。
- 小林：** 考え方しだい、ということですね。
- 西塚：** 起業する時に大切なことは？
- 中村：** まずは「戦略を立てる」こと。私の場合、自分のデザインやブランディング事業を知ってもらうための「場」として、「お店」を作ることから始めました。実際、面白い人が来てくれるようになり、仕事も舞い込んでくるようになりました。どんな仕事でも、どういう資格やスキルが必要なのかを調べ、逆算して戦略を考えていくことが大切だと思います。

地方に活路がある今、青森で働く強みあり

- 小林：** 青森で働くメリットはなんですか？
- 中村：** いい意味で人間関係が狭いことでしょうか。「あの人と一緒に仕事がしたい」と思った時、人のつながりをたどってすぐに会うことができるのが大きな強みだと思います。それに、東京と比べて、物事の競争率が全然違います。青森の方が競争相手が少ないので、ナンバーワン、オンリーワンになりやすいです。人口規模がより小さい地方の方が、一人ひとりの存在価値は大きくなります。東京至上主義が崩壊してきている今だからこそ、地方に活路があるのではないのでしょうか。



八戸中央高等学校1年生
(八戸市在住)

小林 泰雅さん

八戸生まれの八戸育ち。部活は卓球とバドミントンの二刀流。三社大祭、せんべい汁をこよなく愛する八戸LOVER。



名久井農業高等学校1年生
(南部町在住)

西塚 梓さん

部活は茶華道部と農業クラブ。生まれは東京で、都会と田舎の両方の良さを知る。今のところ県外進学希望。



株式会社クロックアップ 代表取締役

中村 公一さん

1978年五所川原市生まれ。映画スタジオや広告制作会社などを経て2005年に渡米。ニューヨークの名門レコードレーベルにて広告、ブランディング業務を担当。2009年に両親の他界を機に故郷青森に戻り、株式会社クロックアップを設立し飲食店やデザイン事業を展開。日夜青森を楽しめる活動に励む。